



半導体国際会議 GAMS / JSTC 開催報告 ～ ESH-Committee の紹介

電子デバイス部

平成25年9月23日（月）～9月27日（金）：
韓国・済州島

半導体分野では通商、環境、知的所有権等の国際的課題に関し、半導体業界として共通に対処するための国際協議・調整のスキームが確立しています。2月のJSTC会合、5月のWSC / JSTC会合、9月のGAMS / JSTC会合（*1～3）があり、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズタイペイ及び中国の世界6極が定期的に一堂に会し種々の問題解決にあたるよう運営されています。

2月のJSTC（*1）、9月のGAMS（*3）の際には会議日程の前半にESH-Committee（環境安全健康委員会）が開催されます。

今回9月23日から27日にかけて韓国・済州島で開催されましたGAMS / JSTC会議でも9月23日から25日にESH-Committeeが開催されましたのでそこの活動を紹介します。

ESH-CommitteeとはJSTC傘下の委員会、タスクフォースの一つではありますが、課題の重要性と専門性から3日間にわたり会議が開催される最大規模の傘下委員会となっております。出席者には環境問題に関連する専門知識が求められますので、JEITA半導体部会では、半導体環境委員会からメンバを任命して対応しております。メンバ企業に影響を与える議題に対し、日本の半導体業界として適切な取組が出来るように議論に参画しております。

ESH-Committeeの中ではさらに3つの作業グループ（WG）に分かれたセッションが開催されます。

PFC WG

WSC（*2）のPFC（perfluorocarbon;

地球温暖化ガスの一種）自主的削減合意の実行を支援することを主な目的とするWGです。

半導体環境委員会ではPFC専門委員会の取り扱うテーマに相当します。

今回は2012年排出結果の分析、2020年に向けた自主削減取り組みのベストプラクティス項目の改訂検討やPFC排出量計算方法の改善検討などが行われました。

資源保護 WG

エネルギー、水、材料といった資源消費のさらなる削減を推進することを主な目的とするWGです。

半導体環境委員会ではエネルギー対策専門委員会や半導体事業所化学物質専門委員会の取り扱うテーマに相当します。

今回は半導体による省エネ評価手法の検討や装置サプライヤーと協力して資源保護活動を推進する仕組みの検討などが行われました。

化学物質 WG

半導体産業での化学物質や材料の入手や使用に影響する法規制や国際合意等に対してWSCとしての見解を作成することを主な目的としたWGです。

半導体環境委員会では半導体製品化学物質専門委員会や半導体事業所化学物質専門委員会の取り扱うテーマに相当します。

今回は韓国REACH法案に対する各工業会からのコメント草案の作成、ナノ材料研究評価プロジェクトへの参画の検討や新たに制定されたカリフォルニアグリーンケミストリー法に関する情報交換などが行われました。

WGに出席するメンバーは、各専門委員会から議題に関する事前検討や情報提供等のサポートを受けた上で国際会議に臨んでおります。

WG の範疇に収まらない議題につきましては、ESH-Committee の全体セッションで議論されます。今回は IHTESH（ハイテク産業の環境安全健康に関する国際学会）の開催に関する議論がなされました。全体セッションでは更に、各作業グループの報告を取り纏め上位の JSTC 会議への報告資料を作成します。

ESH-Committee で出された結論は、上位の会議（今回は JSTC を経て GAMS）に送られ、そこで政府間の課題について更なる討議がなされます。



(*1) JSTC(Joint Steering Committee)
企業委員会による実務レベル会合

(*2) WSC(World Semiconductor Council)
半導体企業トップレベル会合
JSTC 提案を審議・承認し且つ必要に応じて各国政府レベル
に業界要望を掲げる

(*3) GAMS(Government/Authorities Meeting on
Semiconductors)

政府レベル協議で WSC 要望を審議決定する。

JEITA REPORT vol.07

 Activity Report